

平成29年度 第1回高砂市子ども・子育て部会  
議事録

開催日時	平成29年7月25日(火) 午後6時30分～午後8時30分
開催場所	高砂市役所 南庁舎5階大会議室
出席者 (委員)	12名
欠席者	2名
議 題	<p>(1) 子ども・子育て・若手支援事業計画策定業務スケジュールについて</p> <p>(2) 子ども・子育て13事業について</p> <p>(3) 平成28年度子ども・子育て支援事業の実施状況について</p> <p>(4) 平成29年度子ども・子育て支援事業の取り組みについて</p> <p>(5) 高砂市ひとり親家庭等自立促進計画(平成28年度)対策評価シートについて</p> <p>(6) ひとり親家庭の生活と意識に関するアンケート調査について</p>
資 料	<p>(事前配付資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度子ども・子育て部会 委員名簿</li> <li>・会議次第</li> <li>・資料1 平成29年度 第1回高砂市子ども・子育て部会</li> <li>・資料2 平成28年度 子ども・子育て支援事業計画に係る施策評価シート</li> <li>・資料3 高砂市ひとり親家庭等自立促進計画(平成28年度)対策評価シート</li> </ul> <p>(当日配付資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 配席図</li> <li>・第2回子ども・子育て部会 候補日(*委員のみ配付)</li> <li>・参考 平成29年度 教育・保育施設 利用案内(*委員・関係部局のみ)</li> <li>・参考 たかさご子育てガイド</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>1. 開会</p> <p>定刻になりましたので、ただいまより平成 29 年度第 1 回高砂市子ども・子育て部会を始めさせていただきますと思います。委員の皆さま方におかれましては、お忙しい中、またお仕事の後、お疲れのところご出席いただきましてまことにありがとうございます。</p> <p>まず開会にあたりまして本日の資料を確認させていただきます。</p> <p>資料確認</p>
事務局	<p>それでは本日の会議の進行について簡単に説明させていただきます。会議次第をご覧いただきたいと思います。議題として、子ども・子育て・若者支援事業計画の策定業務スケジュール以下 7 項目となっています。大変ボリュームもございます。時間の都合もございますので、続きまして部会長さまよりごあいさつをいただき、進行をよろしくお願ひしたいと思います。</p>
部会長	<p>ご挨拶（略）</p> <p>それでは早速ですが、議題に入りたいと思います。（1）子ども・子育て・若手支援事業計画策定業務スケジュールについて、事務局説明願ひます。</p>
事務局	<p>（1）子ども・子育て・若手支援事業計画策定業務スケジュールについて説明。</p>
部会長	<p>ただいまの説明についてご質問、ご意見等ございますか。ないようですので、続きまして（2）子ども・子育て 13 事業について、事務局から説明願ひます。</p>
事務局	<p>（2）子ども・子育て 13 事業について</p>
部会長	<p>ただいまの説明についてご質問、ご意見等ございますか。まだ議題が続きますが、気になることが出てきましたら（7）その他の前に改めてご意見、ご質問の時間を取りたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして（3）平成 28 年度子ども・子育て支援事業の実施状況について事務局から説明願ひます。</p>

事務局	(3) 平成 28 年度子ども・子育て支援事業の実施状況について説明。
部会長	<p>多岐にわたる事業についてご説明いただきました。ご質問、ご意見ございませんか。ないようですので、続きまして(4)平成 29 年度子ども・子育て支援事業の取り組みについて説明願います。</p>
事務局	(4) 平成 29 年度子ども・子育て支援事業の取り組みについて説明。
委員	<p>子育て世帯、包括支援センターをはじめ、新たな事業のご説明をいただきました。平成 28 年度の実施状況と重なっている点もございますが、何かご質問、ご意見等ありますか。それでは私のほうから、委員の立場としてですが、平成 29 年度の取り組みをうかがいました。先日、高砂市の人口が 9 万人を切りました。どんどん減っています。先日の子ども・子育て・若者会議で委員から、最近、明石市に引っ越される方がすごく多くて、子育て支援については明石が一步先に行っているという情報もいただきました。私個人としては、宝殿地区は加古川、高砂も合わさっていますし、北浜地区は姫路も高砂も同様なので、加古川、姫路に住む人が少しでも高砂市に住んでくれたらなと思っていたのですが、実は高砂市に住んでいても明石に出ようという流れがあるということで、前は本当にびっくりしてそこで何も言えなかったのですが、何とか人口が減っていて、高砂市に住んでいて、その人たちが他市に出ようという状況にある中で加古川、姫路から高砂に移り住んでくれるとは思えないような状況かと思えます。</p> <p>平成 28 年度、平成 29 年度と子育て支援に関して実施状況を報告いただいたのですが、やはりせっかくこうして時間をつぶして各分野からお集まりいただいていますので、この子ども・子育て支援部会から市のほうに要望をきちんと出してはどうかと個人的には思っています。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>10 ページの 3 段目ぐらいに保育士の確保ということで書いてあるわけですが、平成 28 年度の実績としてハローワーク、『広報たかさご』、市のホームページ等での求人により保育士確保に努めたと書いてありますが、市としては公立保育所のみ保育士の確保に努めたのではないかと思います。民間はそれぞれ民間園で保育士確保に努めていますが、できましたら市のほうとして公立、民間問わず保育士確保にご協力をお願いしたいと思うところです。というのは、全国的な保育士不足ということで、先ほど委員からも話がありましたが、保育士の待遇についても、明石市は大分進んでいるということです。そういった面でも、高砂市は少し遅れているのではないかと思います。</p>

	<p>保育所に入りたいというニーズはどんどん増えています。量の確保ということでも、お勤めをいただいているわけですが、今後、保育士が足りないということでも、いくら立派な施設だったとしてもそれに携わる保育士がいないことには待機児童が出てしまうのではないかとということも懸念されますので、民間保育所としてというより、高砂市全体として保育士確保に公立、民間関係なくご支援、ご協力いただきたいということで要望を申し上げたいと思います。以上です。</p>
部会長	<p>ただいまのご意見に対して事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>委員からご指摘がありました保育士の確保ということで、28年度実績、ハローワーク、広報、ホームページでの求人について、おっしゃいますように市の中でも保育士の確保を危惧しているところで、公立、民間に限らず全国的に保育士不足ということが問題となっています。このことについては、多くは待機児童がいることについて、施設が各市において、明石についても全国的にも指折りの待機児童がいる市となっていて、明石市の取り組みとして施設を新たに建てて、待機児童を解消しようという動きの中で保育士確保ということで4月から入れているということも聞いています。</p> <p>高砂市については、兵庫県の保育所支援センターや、または県の保育人材確保対策貸付事業など、兵庫県が保育協会に委託を行っている、人材確保事業を活用し保育士確保に努めるという動きになっています。</p> <p>ただ、市としても委員がおっしゃいますように、高砂市の児童を受け入れる際に保育士が確保できていないと今後待機児童にもつながってしまうことが予想されますので、市としては先日の女性活躍の講演会の際に就活相談会のブースを設けて就労相談というかたちをさせていただいたところです。また、予定ではございますが、市の「広報たかさご」の9月号に公立と民間園で各施設の保育士の人材確保を行うために、有利な制度をご紹介させていただくなど、今後そういった取り組みも準備をしているところです。</p> <p>今後についても公立、民間の保育園、認定こども園と一緒に高砂市の保育士の確保に努めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>それに関連して、資料2、13ページ、3-1-2-2、幼児教育・保育従事者の資質の向上について、確保に関連して、今、委員が言われたことですが、確保と共に、辞めないというか、現職の保育士が、保育が楽しい、面白い、民間さんの場合は給料が少なくても我慢しなければならないこともおありだと思いますが、それ以上に保育が面白いという思いが必要です。それから困難に立ち向かうだけの人材でなければ</p>

事務局	<p>なりません。そのためには、やはり本当の研修を確保していかないと、嫌な言い方ですが、上っ面だけの子どもが可愛いとか、保護者が大変ということではなく、もっと人として子どもをどう育てるのか。また、その背景にいる保護者をどのように、変な優しさではなくて、生き様のようなものをどう伝えていくか、その辺りの研修も必要かと思われます。</p> <p>国のほうで保育士のキャリアアップ研修というもののガイドラインができたと思います。それと併せて、計画を具体的にどのようなことを計画されているのか、その辺のところをもし計画を立ち上げておられるようでしたら教えていただきたいと存じます。</p> <p>委員がおっしゃいますように、今、人材確保、量の確保に努める中で、質の確保ということも国でもやはり事業展開をするようにというかたちとなっています。その一つとして、保育士のキャリアアップの中で研修を充実させることによって保育士の処遇改善に結びつけようという動きもございます。そういった中で、今回、29年度より保育士の処遇改善いわゆる賃金アップをするにあたり、研修を受けるということにより、保育士の質の確保をしていこうという動きがあります。</p> <p>このことについては、先日も国からガイドラインが出ており、処遇改善に対して各8分野ほどの研修を約15時間クリアしないと処遇改善に対して15時間の研修を受けるようにというガイドラインが出ています。兵庫県との調整もさせていただきながら、今後、研修を、例えば、副主任の方であれば4分野の15時間をクリアするというようなことについて、非常に各園、保育士が不足している中でどのように15時間もの研修を受けるかということが課題になっています。</p> <p>この辺については、国、県、市とでまだ調整中で、今後、その研修について、どのようなかたちで展開していくのか。県が実施するという研修になっていますが、兵庫県だけではそういった研修が確保できないところから、保育協会さんの団体や各自治体、市町村で実施する研修も対象になるのかということも含めて、今後、協議が必要であるということで、情報収集等行っているところです。</p> <p>今後、そういったことについても、子ども・子育て部会の中でもご報告させていただきたいと思っています。</p> <p>高砂市についても、たくさんのお新保育士、公立民間、または潜在的な保育士の確保の中で経験がない方もたくさん保育士になっておられますので、そういった質の確保という観点から研修についても、キャリアアップと別の考え方について何らかのかたちで研修を実施したいと考えているところです。</p>
委員	<p>趣旨はよく分かりました、8分野が細分化されたのが示されていると思います。</p>

委員	<p>それから 15 時間をクリアするというのは当然のことで、そうではなく、高砂市の子ども、あるいは保育のニーズに合った実態に合った研修をしていただく。それから、高砂市の良さも十分利用した研修、例えば、子どもの遊び場も長いこと議論されてここまで来たかと思います。ですから、そういうような活用をした保育の良さのようなものをどこか、これは環境というふうにとらえられたらいいと思いますが、そういったことも入れて、高砂市のニーズに合った研修計画を立てていただきたいと思います。</p> <p>例えば、乳児の需要が増えていますね。そういったようなところもまだまだ認定こども園さんでも、幼稚園型のところはとても苦勞されていたりしていますし、乳児保育はただ赤ちゃんが可愛いとか、遊んであげるといった上から目線ではなく、赤ちゃんの発達というのは、研究が進んでこれまで以上にいろいろなことが分かってきています。それから保育士の音声の問題であるとか、どういった音声で子どもは耳を貸してくれるのか。情緒が育っていくのかという研究も進んでおりますので、ぜひ質の高い研修をご計画いただけたらと思っています。</p> <p>ある市ではそのモデルに近いものを進めているところもございますので、また、必要であれば私のほうから資料等お出しすることができますので、またよろしければおっしゃってください。</p> <p>委員 2 名から要望をいただきました。まず要望を出していいかというのは、僕の問いだったのですが、高砂市は高砂市で、確かに頑張っているのですが、それがもうひとつで、近くだと明石、西に行くのと相生とか、広報して頑張っているなという感じはするのですが、やはりこのままでは子どもの数も減ってきているので、何とかしたいという思いがあって、子ども・子育てから要望を挙げるということで皆さんよろしいでしょうか。反対の方はいらっしゃいませんか。</p> <p>今、保育士確保、あるいは保育士の処遇改善、研修レベルアップというご意見をいただきましたが、やはり要望を挙げるにあたってはお金が必要です。来てくださいと言ってもお金がないと言われたらできませんので、まず目標としては平成 30 年から実施するにあたって、いつまでに部会として要望を出せばいいか。タイムリミットを教えてくださいましたらと思います。事務局、いかがでしょうか。今日でなくてもよろしければ、次回までにもう少し考えて、皆さんにいろんな意見を言うていただくというやり方もあります。タイムリミットがあるようでしたら、今日ある程度決める、もしくはメーリングリストなどを使ってできるだけ練り上げていく必要があると思います。その辺はちょっと今、分かりませんか。次回の部会が 9 月下旬、もしくは 10 月上旬ですが、その時でも間に合うか、間に合わないかだけでも教えてくださいましたらと思います。</p>
----	--

事務局	<p>この計画にすでに挙げられているような項目の中で要望が挙がってくるということであれば、来年度予算に間に合うようにということで、秋ぐらいまでにいただければいいのですが、全くここに挙がっていないような新規事業で要望を出されるということであれば、まずは計画に挙げてからということが順序になるかと思しますので、要望の内容にもよるかと思します。</p> <p>あとは大橋先生がおっしゃっておられた保育の質というところに関しても、予算をあげないといけない部分であるとか、あげなくても今の予算の中で、予算なしでできるような部分もあるかと思します。そういった内容によって区分が違ってくるかと考えています。もし予算を伴うもので、この計画の中に挙げられているものということでしたら、秋ぐらいまでにいただければと思します。</p>
委員	<p>お金のことは分からないのですが、予算というのは、結局、市が何に使うかということだと思します。子ども・子育て世代にまずは使うと。それを決めて、そのためにはやはり我慢してもらわなければならない世代もあると思します。見直しを迫られる事業もあります。予算の中でするという発想が僕にはなくて、まず要望が挙がって、子ども・子育て世代のために何かすると。例えば、個人的にはやはり教育・保育の無償化を要望したいのですが、それをするにあたっては、まずはそれをする。そのためにはお金がいくらいると。それは絶対しないといけないことだ。子どもたちのため、高砂市の未来を考えたらということで、それはするとして、じゃあ、何を削るのか。どこの世代に我慢してもらうのかと。お話を聞いていたら、余っている予算で何とかしようというふう聞こえてしまうのですが、それでは委員から提言がありましたように、高砂市から明石市に人が行っている。姫路、加古川から高砂市に移住してもらえようなまちづくりにはならないと思しますので、そのところを僕としては子ども・子育て部会で要望を出して、高砂市の本気度、本当に子どものためにお金を使うのか、そこを問うてみたいと。お金が出ないことを要望しても意味がないので、まず予算を取るにはいつまでに要望を出せばいいか。子ども・子育て世代会議できちんと要望を出して、市の本気度をうかがいたいという気持ちです。僕の要望は幼児教育・保育の無償化です。</p> <p>他の委員の方々、いい機会ですので、多分要望全部は出せないと思うので、挙げられている要望の中でいくつか絞ってお願いして、挙げた要望は次年度、次々年度にというかたちになっていくと思します。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は自治会長を今年度させてもらって、青少年健全育成連絡協議会の役員もさせてもらっています。18 ページ、3-3-1-14 世代間交流事業の推進で、青少年健全育成</p>

事務局	<p>連絡協議会の夏祭りやとんど等のイベントを実施しているのですが、まず高砂市内で各種団体がどんどん減っています。子供会が減って、婦人会がなくなり、老人クラブが減り、各種このようなイベントに参加して下さる団体も減ってきています。青少年健全育成連絡協議会の役員自体の次世代の育成も難しくなっている中で、毎年、何とかやりくりしながらこのような祭り、イベントを行っているのですが、各地区の団体が減るということに関して、できれば市に助けをいただきたいというのが個人的な、底辺で活動している僕としては欲しいところであって、今、僕が住んでいるところでも子供会は休止、またはなくすという話も出てきており、子どもの数も減ってはいるのですが、それ以上に親が役員をしたくないから子供会をつぶすと。婦人会もやりたくないというご高齢の方々もたくさん増えてきている中で、世代間交流はすごく難しい事業という感じがして、その中でもできるだけ今現在動いておられる自治会や PTA を集めに集めて、何とか青少年健全育成連絡協議会の役員が生まれているという現状があります。そういうところについてのご意見をお聞かせ願えればと思います。</p> <p>今、ご意見いただきました青少年健全育成連絡協議会、この度、4月から子ども未来部の中の未来戦略推進室の青少年センターというところと若者青少年支援担当というところで所管させていただいてお世話になっています。</p> <p>先日の総会の時にもそういったご意見をいただき、これは子供会ばかりだけではなく、老人クラブや婦人会、自治会もそうですが、加入者が減っているということで、新聞記事にも全国的に出ています。実は自治会の加入率については、高砂市はまだ高いほうで、先進地として視察に来るぐらいだということですが、子供会については、私が住んでいる地域でも減ってきているということもあります。今、青少年健全育成連絡協議会だけではなく、市の子ども会の連合会のほうでもかなり力を入れて、子供会に加入をしていない方も参加できるような行事などが検討されています。</p> <p>もう一つ、今言われていた世代間交流についても、部局は違いますが、一緒にできるような施策や高齢者と若い方々の交流も、逆に老人クラブの方々からも。年寄りには元気なだから、若い人と子どもを面倒みたりしたいという声もありますので、そういった活動の支援というかたちでいろいろこちら補助金を用意しているのですが、根本的に近所付き合いという本当に隣同士での関係が最近困難というか難しくなっているのが地域の中でのうまくやっつけられる方法というのは、私も非常に難しく、課題と思っていますので、今後、各種団体との話の中で後継者づくりや人材不足というのは、それぞれの団体抱えていらっしゃるの、ちょっと課題を吸い上げてこちらからもご提案とか、一緒に何かできないかなということを模</p>
-----	---

<p>委員</p>	<p>索して考えていきたいと思っています。</p> <p>各団体の参加や幅広い交流は難しいかなと思うのですが、これから先、それが必要な世の中にはなってくると思うので、あとはイベントをするにあたって、私たちの場合、小学校の校庭をお借りしてイベントをさせていただいています。あとはこういう夏祭りイベントを行うにあたっての縛りというのか、小学校を使っているの、教育関連のほうからの、これはしたらあかん、あれはだめ、これはだめという縛りが年々きつくなって行って、動きづらいところはあるのですが、そういうところも何とか市の行政のほうから緩和していただきながら、ここまでだったら大丈夫とか、そういうところもしていただきたいと思います。</p> <p>今年度特にあったのが、ごみ処理という面で、ここ1カ月、2カ月問題になって、学校のほうではイベントで出たごみを出せない。市のほうも引き取りにも来れない。イベントで出たごみなので、ということで、お断りされたんですね。お金を払って加古川市の集積場に持っていく。学校のほうにも置けないし、どこにも置けないからどうしようかということが悩みどころです。市の教育関連の言い分も分かるのですが、拠点として小学校を使っている地区は多々あると思います。そういう中で、やっぱり集まれるところが、言い方は悪いのですが、人質に取ったイベントごとになってくると思うので、そういうところで小学校での縛りがもう少し軽減されればということは思っています。またよろしくお願いします。</p>
<p>部会長</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>要望ではないのですが、保育士の確保の話ですが、また私の行っている幼稚園の話です。上の子たちの同級生のお母さんたちがたくさん先生になられているんですね。上の子を通わせていた時に、クラスのお友だちのお母さんだった人たちが皆さん今は幼稚園の先生として、自分の子どもは小学校に上がって、現在は幼稚園のお子さんを見ている。先生としてその幼稚園にものすごくたくさんの方が勤められていて、私立なのでそういうことが可能なかもしれませんが、公立の幼稚園でも園長先生にしても、保育のプロの方たちですので、通われているお子さんの保護者の方に目を付けるという言い方が悪いですが、この方だときっと先生と一緒に働けると。高砂市は保育士の資格と幼稚園の資格と両方いるんですよ。そういうところのハードルも下げて、幼稚園の免許を持っていれば幼稚園の先生というかたちで、パートとしても勤められるようなかたちはどうでしょうか。</p> <p>高砂市内といっても広いので転勤となると、自分の近くの幼稚園だと行きやすいとか、9時から2時ぐらいまでという時間で、小学生のお子さんがいるお母さ</p>

	<p>んでも勤められるようなかたちにして近くの人たちを採用していくと保育士ももう少し確保できるのではないかと思います。</p> <p>自分の子どもを通わせていた幼稚園で、先生ができるというかたちにしていくと、広報で募集するとか公の場とするのではなくて、身近なところで職業としてお母さんたちを確保していくというかたちにすれば、少し確保できるのではないかなと思って、幼稚園の通わせながら思っています。</p>
部会長	<p>貴重なアドバイスだと思います。ありがとうございます。</p>
委員	<p>私が最初に手を挙げたのは、高砂市の子育てが円滑にいけばいいなという趣旨で思っているのですが、本当に今ごろ言うとな怒られるのですが、原点に戻らせていただいてこの部会の趣旨を簡単で結構ですので、お教えいただけないかなと思っています。</p> <p>といいますのは、制限がある財源の中で、制限のある時間の中で何を重点的にしていくのが望ましいのか、それぞれの立場でそれぞれの意見があって、それは含みつつ、どこを優先的に考えていったらいいのかということをする時に、もう一度原点に立ち返る必要があると考えますので第一の質問はそこにあったわけです。</p> <p>私のすぐ前にお話をいただいた委員は貴重なご提案だったと思いますが、これも質の確保というところ、それから未来ある子ども、保護者もいろいろな方がいらっしゃる中で対応できる人材ということになると、ハードルを下げるのは非常に難しいものがあるのではないかと思います。そのぐらい保育の現場は大変担ってきています。</p> <p>そういうこともあるかと思いますが、例えば、デンマークやスウェーデンもそうですが、核になる人はかなりのプロパーです。かなり勉強をしてきています。スウェーデンなどは特にそうです。そして、助手のような感じの人がいるのですが、国民全体が福祉を生まれた時から学んできているんですね。学ぶというか、自然に身に付いてきているからそれができる。日本の場合は、なかなかそのところがまだまだ難しいものがありますので、質の確保という点については非常に難しいと思います。</p> <p>デンマークはプロパーになるために、今は資料がありませんので正確な数字が分かりませんが、確か全部で1年半ぐらいは学生の中に実習があります。その間の後半部分は少しアルバイトもできますが、でも実習生です。国によってやり方と国民性が違うという辺りで、かなり考えて進まないといけないであろうと。そのぐらい、今子育ての背景が大変になってきているのではないかなと思っています。</p> <p>この子ども・子育て部会の趣旨をもう一度簡単で結構ですので、教えていただけ</p>

事務局	<p>ませんか。</p> <p>この子ども・子育て部会の趣旨ですが、もともとは子ども・子育て支援新制度が平成27年度からスタートし、その子ども・子育て支援新制度自体が子ども・子育てを取り巻くたくさんの課題、今先生からもお話ししていただいたような課題とか、特に大きなところでいえば急速な少子化の進行でありますとか、待機児童問題、また虐待等のケースが増えているなど、子育てを取り巻くたくさんの課題がある中、国は「子ども・子育て支援新制度」ということで、あらゆる制度を法的に位置付け、各市町村において新制度に基づいた量の確保と質の確保を行うことを計画で定めるように致しました。本市においても子ども・子育て支援事業計画を作成させていただいています。</p> <p>この子ども部会は従来までの子ども・子育て会議ということで、昨年までさせていただいていました会議ですが、本来の趣旨は27年度から31年度までの5カ年計画であります高砂市の子ども・子育て支援事業計画、先ほど28年の進捗状況と29年度のこれからの取り組みということで、担当のほうから説明させていただきましたが、その中の進捗管理をこの子ども部会の中でしていただき、計画の内容等についてたくさんの意見をいただきながら点検、評価を行うというのが子ども部会の趣旨であるかと考えております。</p>
委員	<p>ということは、意見を今、自由にお話しさせていただいて、今後の参考にしていただくということですか。</p>
事務局	<p>先ほど数人の委員の方々から担当から説明させていただいた子ども・子育て支援事業計画にこの5年間の計画に載せています、各事業の取り組みについてご意見いただきましたので、この意見について各委員さんから確認評価をする中でのご意見ということで、委員がおっしゃる通りで進めていただいて結構かと思えます。</p>
委員	<p>では要望させていただく期限については、そんなにたくさんは要望できないと思いますが、その辺りはどのように考えたらよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>いろいろな要望が、それぞれの方、いろいろな団体に所属されていますのであるかと思えます。そういった方の要望を全部聞く場ですよというのが、この子ども・子育て会議ではありません。本来は、先ほど事務局から説明した通り、この計画に基づいて市のほうがあらゆる施策を進めていく上で、こういった施策の進め方でいいのか、もう少しここは新たな施策があるのではないですかというようなご意見を</p>

	<p>いただく場であると思います。ただ、そのご意見と要望が非常に難しいと思いますので、予算が絡むようなものでしたら、先ほど言いましたように、秋までにいただいていないと、それは載せていくことはできないのが現実のことです。それがすなわち、こういった予算を取ってください、これに関する予算を取ってくださいというのをお聞きする場ではないと思っています。</p>
委員	<p>市としての重点項目はあるのでしょうか。ここだけは議論してほしいとか、漠然とこちらで言い続けていいのか、その辺りのところもお尋ねしたかったのですが。</p>
委員	<p>そもそも私が会議の趣旨とは少しずれた予算のことを口にしたのが脱線してしまった原因になるわけですね、先生。そういうところの議論は、ここでは残念ながらできないということですが、個人的には、何と申しますか、少子高齢化になり、国からも子ども保険の話が出ていますが、やっと子育て世代に目を向け始めて、このままでは日本はだめだと。働き手がどんどん減ってきて、ちょっとずつ子どものほうにシフトしてきていると思います。いずれは国のほうも段階的に保育、教育、どこまで無償化になるか分かりませんが、無償化を進めていっている中でいずれは5年先、10年先には無償化になるとは思います。横並びにしているのでは高砂市に戻ってくれない、いてくれないということで、やはり明石よりも一歩先に、姫路より、加古川よりも一歩先に施策を立てないと今の市民が市外へ出て行く現状はどうしようもなく、どんどん高砂市から人が減って行って、結局、残念ながら人もいない、活気のないまちになってしまうかもしれないので、国にそういう動きがありますので近隣他市よりも一歩先んじた施策を打ってほしいと。それには非常に子どものために予算を使うかどうかということが非常に気になっていましたので、それについて発言してしまいましたが、ちょっとこの部会の趣旨からはずれていたということですね。申し訳ありませんでした。</p> <p>高砂市がつくっていただいた施策に関して要望を挙げていくということで、いくつか出ましたが、他に委員の方々からご意見はありますか。</p>
事務局	<p>追加でお話させていただきたいのですが、委員がおっしゃっておられる幼児教育、保育の無償化は昨年度提案させていただいた中で議会のほうで通らなかったという説明をさせていただきました。この点についてもどうなっているのかということをお前の会議の中でも出ておりましたので、少しだけ今市がどういったことをしているのかということについてお話しさせていただきたいと思っています。</p> <p>国のほうの骨太の方針なども出てきております。その中で幼児教育にもっとお金をかけていくべきだ。ただ、そのかけていく方法として、子ども保険といった提案</p>

<p>部会長</p>	<p>もされている中で、国が12月にその方向性を出そうとしています。そういった方向性も勘案しながらしていかなければならないということが1点。</p> <p>市のほうでも、幼児教育の質を大切にする上で保育料を安くするだけが質の向上になるのではないでしょうと。施設の環境面を整えるということも提案の中にありました。そういったこともありましたので、行政としては、今、市民の方に園に通われている保護者対象としてアンケートを採っています。アンケートの結果がまとまりましたら、こちらで報告させていただいて、今、幼児教育の無償化に関してどうしていくべきかということを検討していますので、その件については小林先生もいろいろ提案、要望したいという思いをお持ちだと思いますので、それについてはまた報告させていただきたいと思います。追加で説明させていただきました。</p> <p>今、高砂市がつくっている案に対しての要望については部会から出していただけると思います。他にご意見ございませんか。</p> <p>期限が分からないようですので、どうでしょうか。一応、こういう要望があったということで全部受けていただけると理解してよろしいでしょうか。それとももう少し要望を絞って出したほうがよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほど出た意見はほとんどこの計画に載っていることでしたので、それは意見として受け止めさせていただいて、今後、もっと施策を広げていくということでしたら、来年度の施策に向けて考えさせていただきたいと思っています。</p>
<p>部会長</p>	<p>いくつか要望が出ましたので、また議事録のほうを確認いただき、自分の思いとニュアンスが違うということがありましたら議事録を訂正していただき、1年後に現在挙げた要望についてまたご説明いただけたらと思います。</p> <p>では、続きまして議題（5）高砂市ひとり親家庭等自立促進計画（平成28年度）対策評価シートについて事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>（5）高砂市ひとり親家庭等自立促進計画（平成28年度）対策評価シートについて説明。</p>
<p>部会長 委員</p>	<p>ご質問、ご意見等ございますか。</p> <p>私のほうから質問があります。資料3の2ページ、上から4段目、特別保育事業の推進ということで、A判定ということで、多様なニーズに応じられるよう延長保育等の充実に努めたというのは、広報、案内をしたということでしょうか。それとも費用負担を免除したのでしょうか。もしくはその両方でしょうか。多くの子ども</p>

	<p>さんは医療費がいないということは分かっているのですが、保育等に関してはお金を払う必要があるのかどうか知識がないものですから。ちなみに病児保育室では母子家庭の方も普通の方と同じように費用負担をしていただいていますので、他の事業はどうかと思って質問いたしました。</p>
事務局	<p>一時預かり事業、こちらに書いてあります、多様なニーズに応じられるような延長保育、休日保育、一時預かり事業については、実施というところでありまして、病児保育事業と同じように、ひとり親家庭であるからといって減免等の措置はございません。通常の利用の預かりということで実施しています。</p>
部会長	<p>分かりました。他にご意見ございませんか。ないようですので、(6)ひとり親家庭の生活と意識に関するアンケート調査について事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>(6)ひとり親家庭の生活と意識に関するアンケート調査について説明。</p>
小林部会長	<p>アンケート調査についてご意見、ご質問等ございますか。</p>
委員	<p>資料1の14ページ、アンケート(案)＊の項目番号、25、31、41、42、54が今回新規で追加する項目です、とありますが、下の番号と全然違います。下の「新」のほう合っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>申し訳ありませんが、合っていません。下の番号のほう、色が変わっている網掛けのところ新しい項目となっています。</p>
部会長	<p>他にご意見等ございませんか。それでは1から6までの議題が終わりましたので、振り返りまして、何かその他の議題に入るまでにご意見等ありましたらお願いします。</p> <p>それでは(7)その他の議題について事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>(7)その他</p>
部会長	<p>最後になりますが、特にご意見があるようでしたらおうかがいしたいと思います。委員の先生方、よろしいでしょうか。議題4と5の間で、私の勘違いで話題がずれて時間がかかったことをおわび申し上げます。皆さん、本当に今日は遅くまでお疲れさまでした。ありがとうございました。</p>

事務局	熱心にご議論いただきありがとうございました。 (終了)
-----	--------------------------------